

きのこ展会場MAP

園内の「きのこ出現ポイント」を回ってみよう！

マップ内の青い丸数字は、例年、裏面写真のキノコが生えていた場所です。

プロムナード先案内板「ただいま生えているきのこ」と併せてご覧ください。

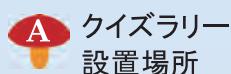
※マップ内のきのこは、常に生えているわけではありません。

研修展示館

- 1F 名前にまつわるミステリー
- 2F きのこ美術館
- 3F きのこ画コンテスト（きのコン）
（ワークショップ）
 - ・きのこのプラバンストラップつくり
 - ・きのこの折り絵パズル



誘導フラッグ



中央広場周辺

休憩スペース・飲食店
マッシュルームつかみどり
[有料・日曜日のみ]

プロムナード先案内板

ただいま生えているきのこ

教育棟

きのこ書籍・グッズ販売

入口



植物園からのお願い



とらない!
植栽区への
立入禁止



ハチに注意

クイズラリー

会場MAPのきのこマークをまわって
クイズにチャレンジしよう！全問挑
戦者には、オリジナルポストカード
をプレゼント。交換場所：教育棟

番号	A	B	C	D	E
答 え					



1 タマゴタケ

2 ニガクリタケ

3 ノウタケ

4 マントカラカサタケ

5 コフキサルノ / コシカケ

きのこQ&A

きのこやその他の菌類について、よく挙げられる質問をまとめました。
写真のきのこは、表面の会場マップの数字と照らし合わせてご覧ください。

Q1

ほとんどが身近な場所からです。大半は植物園から半径10キロ圏内。植物園を舞台にした大規模なきのこ調査も進行中。その他にも日本全国の協力者から、たくさんのかきのこを送ってもらいました。
⇒詳しくは「多目的温室」で！

Q2

大丈夫です。世界で唯一「カエンタケ」というきのこだけは、さわるだけで危険と言われることもありますが、実際には食べなければ大丈夫。その他のきのこも猛毒菌を含め、さわるだけでは全く問題ありません。このコーナーではきのこの匂いを嗅いだり触ったりして楽しんでください。でもきのこを触るときは優しく、そして触った後は元にもどしてください。手を洗うのも忘れない！

⇒詳しくは「多目的温室」で！

Q3

筑波実験植物園には年間を通して多様なきのこが発生します。どんな時期でも植物園を一周すれば、軽く30種を超えるきのこを見ることができます。園内全体がみどころですが、特にオススメなのは「冷温帯落葉広葉樹林(W4)」。タイミングが良ければ大量のタマゴタケを見るできます。
⇒詳しくは「プロムナード先案内板」で！

案内板の「ただいま生えているきのこ」に書かれた情報を見逃さないで！

Q4

はい。「きのコン(きのこ画コンテスト)」応募作品展では、入選作品だけではなく、多数の力作が展示されています。この中から来年のきのこ展のポスター・デザインが選ばれるかも!? また、きのこを生き生きと表現した木版画や水彩画、実物のきのこの質感を生かした「押しきのこ」作品など、多彩な「きのこアート作品」がみなさんをお待ちしています！
⇒詳しくは「研修展示館2Fおよび3F」で！

Q5

みなさん、きのこの種名を「ダケ」と濁って発音していませんか？これは間違い、というわけではなく、「ダケ」と呼ぶ地方もたしかにあります。ただし、図鑑にのっているようなきのこの和名はほぼ全てが「～タケ」なのです。でも、そもそもきのこのことを「こけ」と呼んだり、その他にも「なば」「みみ」「もたし」と呼ぶなど、日本国内だけでも多数の呼び方が存在します。今回は、そのようなきのこの名前について、和名、地名、方言名だけでなく、外国語での呼び方も含めて、その不思議を解説します！
⇒詳しくは「研修展示館1F」で！

Q6

あるんです！歴代の菌学者である南方熊楠、今井三子、小林義雄、今関六也、本郷次雄など、偉大な菌学者の名前にちなんだきのこが存在します。でも、現役の、もっと身近に会える菌学者に関連した名前もあるかも！？科博で活躍する菌学者、保坂健太郎（きのこ博士）、細矢剛（カビ博士）、大村嘉人（地衣博士）のそれぞれに関連した菌類の名前、この3名が発表した新種等を紹介します。
⇒詳しくは「研修展示館1F」で！

6 エリマキツチグリ

7 アイバシロハツ

8 ヒイロタケ

9 カワラタケ

10 ミドリスギタケ

